

第4回夕張市庁舎整備検討委員会 意見交換概要

R5.3.1 18:30～ 市役所4階会議室

<庁舎建設候補地について>

- ・「りすた北側」の敷地は、りすたと土地の高低差があるため、りすたと連携がとりにくいのではないかと。りすた南側の方が、道路の横断は必要となるが、入口は近くなるのではないかと。
- ・市役所の機能を考えると、土地の面積や駐車場、アクセス性から、りすた北側が有利だと思う。
- ・「りすた北側」は、基本構想・計画策定業務受託者も現地を見た上でのものなのか。
(→受託業者も現地を見ている。)
- ・「りすた北側」の敷地の地権者は、農家をやっており、敷地も農業委員会の関係があるのではないかと。また、候補地だけ決めたとしても、地権者の合意が得られなければ事業を進めることができないのではないかと。

➡ (市の回答) 地権者に売却の意向があることは確認している。土地については、昔は畑として利用されていたが、現在は農業としては廃業されており、農地として登録されていないため、手続き上のハードルは低いと考えている。
- ・これからまだ乗り越えなければならないこともいくつかあるが、それを前提として、庁舎の建設地については「りすた北側」で進めていただくということによろしいかと。

【➡意見等無し】

<基本構想案の概要について>

- ・もう少し夕張らしさを入れられるのではないかとと思う。
- ・新庁舎が市民の財産と感じてもらえるようになるのが一番良いと思う。夕張らしさやコミュニティを大切にしたい庁舎だと良い。
- ・市役所には多くの部署があるので、市民も使いやすく、さらの職員も使いやすい施設になると良い、

- ・この先人口が大幅に減り、市役所のあり方も変わっていくので、大きな建物はいらなのではないか。
- ・庁舎移転後の本庁地区が気になる。商業者で移りたいという希望がある方は優先的に移れるのか。他の地域からも移転したいという人が出てくるのではないか。
- ・利用する方が利用しやすい施設になると良いのはもちろんだが、なにより市職員が働きやすい職場であることが一番大事だと思う。市役所内部の意見を尊重してつくった方がよい。職員にとって働きにくい職場だと、市民サービスが低下していくことが懸念される。
- ・市民が集まる市役所のイメージがわからない。市役所はあくまで市民サービスを受けに行くところというイメージがあり、そこまでそういう機能が必要かどうかは想像できなかった。
- ・「人にやさしく利用しやすい庁舎」と書いてあるが、どういう人をイメージするかというと、多くの方が高齢者をイメージすると思う。この先将来は高校生をはじめ若者に目を向けるべき。
- ・子育て世代が、子どもの将来のために市外へ引越しすることを耳にすることもある。子どもの将来を考えたときに、この庁舎があるまちだと、夕張に残りたいなと思えるように、「人にやさしく」といったときに、子育て世代や未来を担う世代の認識を強く持った方がよいのではないか。
- ・基本方針を見ていると素晴らしい市役所になる、全てを取り入れると立派な庁舎になると思うが、後になって、過大投資や重荷になるような建物にならないようにしてほしい。
- ・夕張は広いので、各地域が連携とれるような庁舎整備になってほしい。
- ・第3回委員会の後に、市のホームページにPFIの募集が告示されたが確認したい。また、受託者として同席しているドーコンの役割は何なのか聞きたい。

➡（市の回答）PFIの公募は行っていない。ドーコンは、基本構想・基本計画の策定に関する業務を委託している。
- ・市庁舎は防災拠点としての機能もあるため、いざ災害が起きたときに、すぐ機能できるようなつくりにしてほしい。

- ・夕張は広いく、また、マイナンバーカードなども進んでいるので、デジタル化を進め、市役所に来なくても手続きができるようにしてほしい。
- ・大事なものはハコというより人。ハコモノに関しては最低限整備され、職員の方の働く環境を重視して進めてほしい。
- ・りすが使い勝手が悪いといったことを聞く。建てた後にそうならないよう、市民がどういった思いで使うか、必要ないものはつukらないように考えて進めてほしい。
- ・「持続可能なまちづくりの中核となる庁舎」となっているが、何が持続可能なのかよくわからなかった。夕張において「持続可能」というのは重要なことだと思う。
- ・文化交流機能を持った庁舎があると良いと思う。演劇の鑑賞や市民が踊りを発表できる場所など、市民会館の機能を持った庁舎ができると喜ぶ市民もいると思う。
- ・大きな希望として公園（防災広場）ができること。しばらく子ども達のはしゃぐ姿は見えていない。芝生ができてボール蹴りなど楽しんでいたり、お母さん達がベンチに座って談笑したりするなど、市民が和む場所を思い浮かべていた。
- ・芸能などの発表ができる場所などは庁舎で可能なのか。
- ・議場を開放している例がある。議場は1年間の中で90日しか稼働していないので、それ以外の期間については、市民に開放している例がある。
- ・素晴らしい基本方針だと思うが、「持続可能なまちづくりの中核となる庁舎」ということをもっと言葉に表してほしい。夕張にとっては重い言葉だと思う
- ・公園（防災広場）という話もあったが、予算がなくてできなくなった、地盤が悪かったなど、後で話が覆るようなことにならないようにしてほしい。
- ・第3回の委員会の結果が市ホームページに掲載されていないが。
 - ➡（市の回答）第3回委員会については、民地も含めた資料となっており、個人情報等もあるため掲載していない。第4回についても具体的な場所を掲載しない可能性はある。
- ・「持続可能な」ということの意味について、どんどん議論したらよいと思う。個人的には、まちづくりを支える人をしっかりつくっていく、育てていく、つなげていくことが重要だと思う。

- ・交流人口、関係人口という言葉が出てきているが、もはやまちづくりは地域住民だけではできないと思う。色々な人の知恵やマンパワー、お金も含めて、つなぎ合わせていくことがまちづくりでは重要。庁舎が人と人、資源と資源をつなぐ場となり、仕掛けになっていくと良いと思う。
- ・夕張はこれからも人口が減っていかざるを得ない状況であるが、DX等が進むことで市役所のあり方はどんどん変わっていく。そういう状況の時に、庁舎はどうあるべきか考えていきたい。色々な使い方ができる庁舎という考え方もあるだろうし、逆に30年で使い切るという考えでお金をかけないということも考えられるかもしれない。色々な考えがあるので、一緒に考えていきたい。